

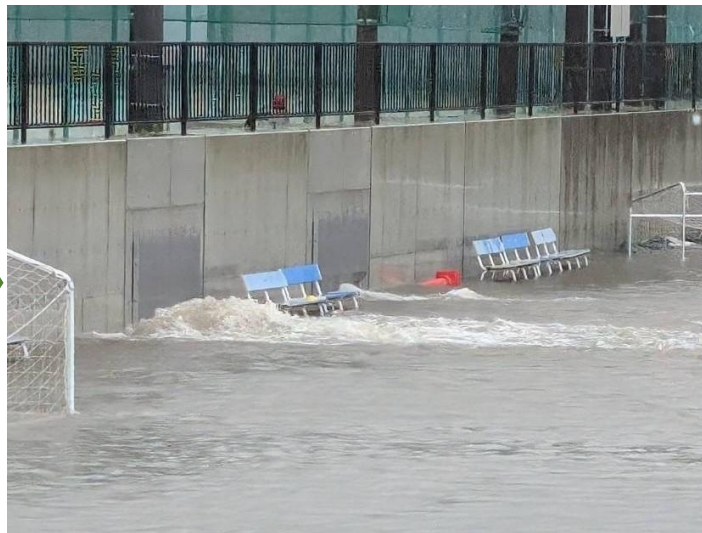
災害対応について

久留米大学との連携で被害を軽減

✓ 貯留施設の運用により、下弓削川周辺の浸水被害を軽減



井田川溢水状況11:20頃



貯留施設流入状況
久留米大学御井キャンパス
グラウンド
11:20貯留開始～11:40貯留終了
貯留量：約5,000m³/21,800m³
(25mプール11杯分/50杯分)



井田川水位低下状況12:00頃

支援に必要な業務をシステムで一元管理

被害認定調査

被災証明発行

被災者台帳作成

これまでは...

調査内容を
手入力

手作業で調査結果と
申請者情報を紐づけ

各支援状況を
個別に管理

システム導入で**迅速な支援へ**